

# 獣医師の現状と 将来に向けた展望

農林水産省消費・安全局

畜水産安全管理課

令和7年1月25日

# 00 はじめる前に自己紹介

名前: 岩田 啓(いわた けい)

現職: 農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課  
課長補佐(獣医療提供戦略班担当)

これまでの経歴: 千葉県 千葉市出身

平成21年3月: 鹿児島大学 農学部 獣医学科 卒業 (微生物学研究室)

平成21年4月: 農林水産省 入省

平成22年4月: 動物検疫所 北海道出張所 胆振分室

平成24年4月: 動物検疫所 検疫部 動物検疫課

平成26年4月: 神奈川県 県央家畜保険衛生所

平成28年4月: 動物検疫所 精密検査部 病理・理化学検査課

平成31年4月: 消費・安全局 動物衛生課

令和 3年4月: 消費・安全局 畜水産安全管理課

令和 5年10月～: 現職

・競走馬・繁殖馬  
・アルパカ、コビトカバ等  
の輸出入検疫担当

畜産農家へ検査、指導担当

遺伝子検査、  
病理検査担当

豚熱、鳥インフルエンザ防疫担当

PFAS、肥育ホルモンなど残留担当

# 今日のお話

## 1 獣医師をめぐる情勢

## 2 獣医師の現状

(1) 年齢分布と地域特性

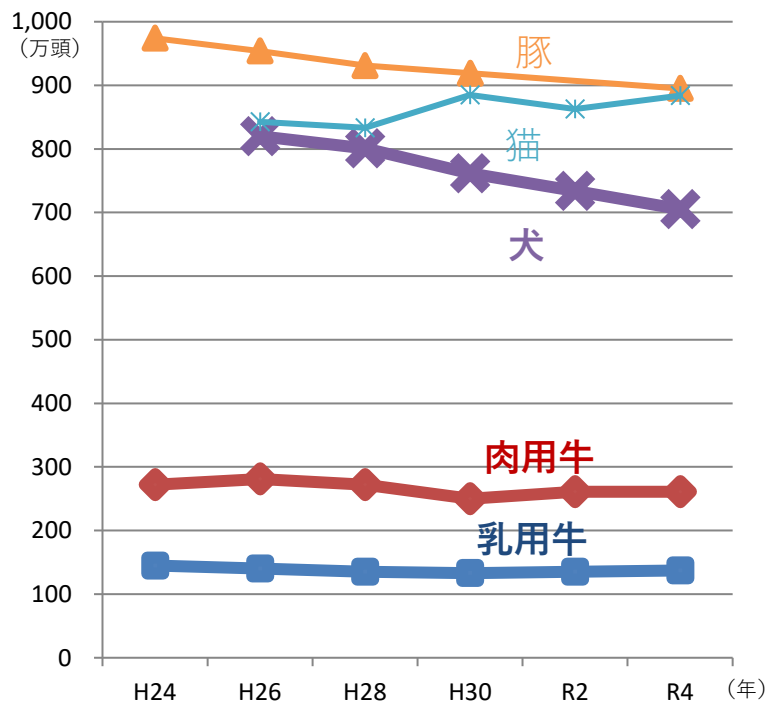
(2) 職域別の年齢構成

(3) 将来の展望

# 1-01 主な対象飼育動物と課題

- 牛の頭数は横ばい。豚は微減。ただし、農家戸数は減少し、大規模化が進展。
- 犬の頭数は減少傾向。猫は横ばい。ただし、平均寿命が延びている。

## ○ 飼育動物の頭数(万頭)

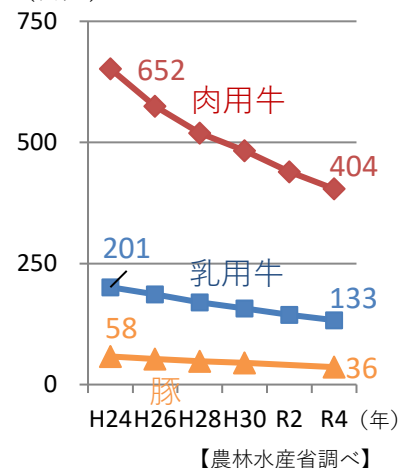


牛・豚：農林水産省調べ：各年2月1日

犬・猫：ペットフード協会調べ

※犬猫は令和3年度調査において推計方法を改定  
(改定した推計方法により平成25年度以降の推計頭数を再計算)

## ○ 家畜の飼養戸数(百戸)

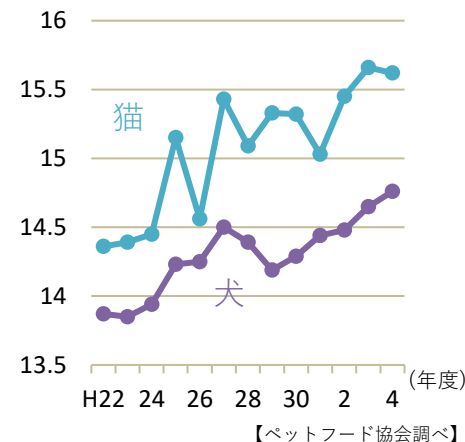


【農林水産省調べ】

※各年2月1日

※令和2年は世界農林業センサス年のため豚に比較できるデータがない。

## ○ 家庭の犬猫平均寿命(才)



【ペットフード協会調べ】

- ⇒ 指導や治療の物理的な非効率化に対応する必要。
- ⇒ (飼い主も含めた) 高齢化に伴う対象疾病やニーズの変化ありか。

# 1-02 獣医師の資格を活かして、どう活躍する？

○ 獣医師の活動分野は広い。犬猫等の診療に4割、産業動物分野(診療や家畜衛生)が2割、公衆衛生等やその他獣医系分野に1.5割ずつが従事。

## 分野別獣医師の数

	平成24年		令和4年		
	(人)	(%)	(人)	(%)	
産業動物診療	4,366	11.4	4,460	11.0	
公務員	農林水産分野	3,444	9.0	3,311	8.2
	公衆衛生分野	5,260	13.7	5,378	13.3
	その他	533	1.4	456	1.1
	小動物診療	14,640	38.2	16,541	40.9
その他の分野	5,541	14.5	5,955	14.7	
小計	33,784	88.2	36,101	89.2	
獣医事に従事しない者 (無職含む)	4,509	11.8	4,354	10.8	
合計	38,293	100	40,455	100	

H24 ⇒ R4

- 100人

- 133人

+ 118人

- 77人

+ 1,901人

+ 414人

- 155人

+ 2,162人

【農林水産省調べ】

① 産業動物獣医師 (約2割)

1) 産業動物診療獣医師

に従事



2) 産業分野公務員獣医師

として家畜伝染病の予防や

に従事



3) 産業分野の三等の公務員獣医師

としてと畜場の食肉検査等に従事

して動物の愛護・管理等に従事



4) 小動物診療 (約4割)

に従事



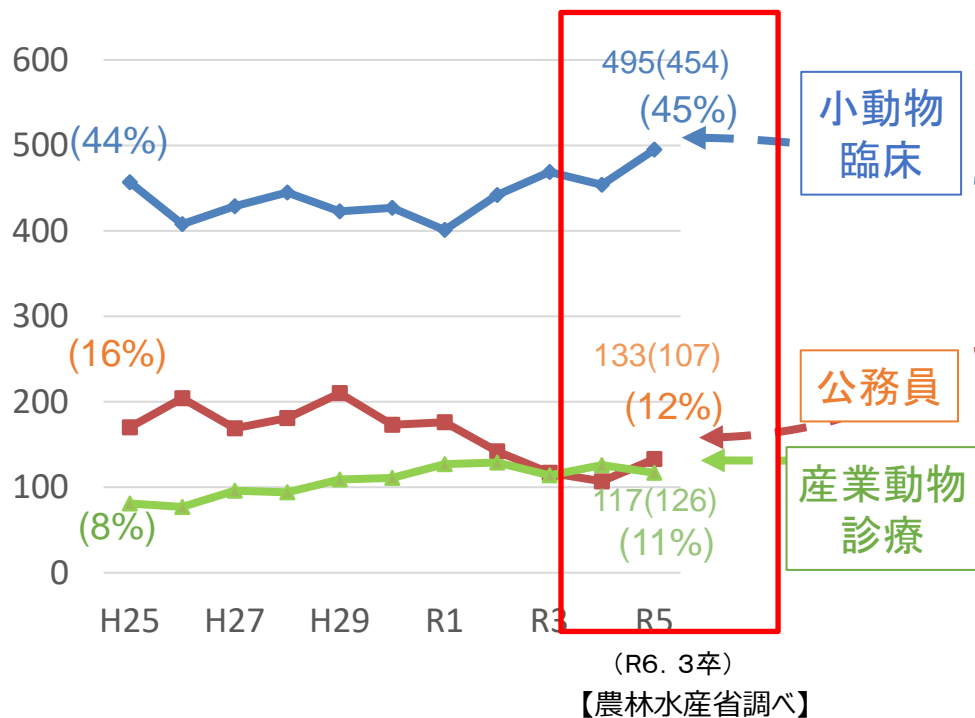
④ その他の分野

大学の教員、動物用・人体用医薬品の開発、海外技術協力などに従事

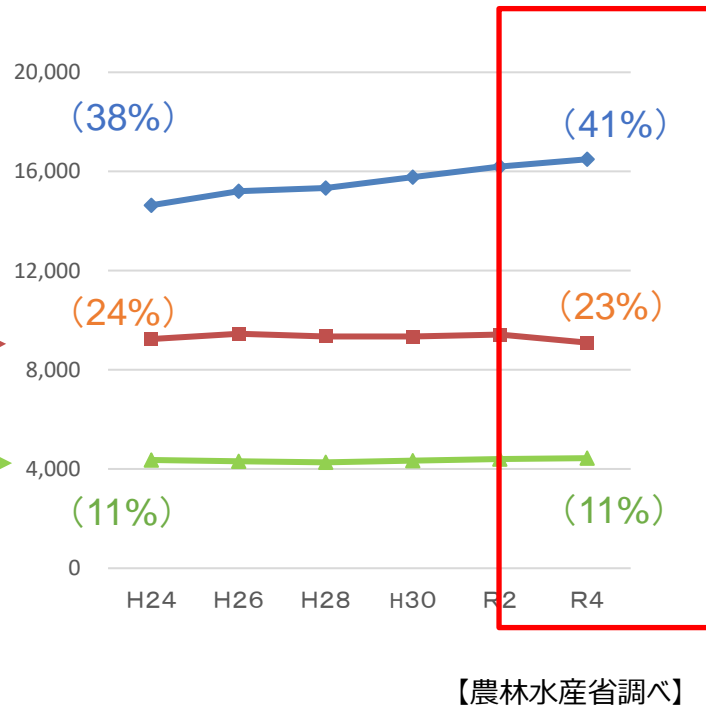
# 1-03 獣医師の活動状況

- 犬猫の頭数が減少か横ばいという傾向の中、近年、新卒獣医師は45%程度が小動物診療に就職。一方で近年の小動物診療就業者は40%程度。
- 新卒の就職先と分野別獣医師数が近年乖離。

○ 獣医大学卒業者の就職状況の推移 (単位：人)



○ 分野別獣医師の数 (単位：人)



注：獣医大学卒業者には獣医師免許未取得者を含む

注：( ) 内は各年度の卒業生数に占める割合 (%)

注：公務員には、農林水産分野、公衆衛生分野、その他の分野の公務員を含む

注：( ) 内は各年度の獣医師総数に占める割合 (%)

注：公務員には、農林水産分野、公衆衛生分野、その他の分野の公務員を含む

# 今日のお話

## 1 獣医師をめぐる情勢

## 2 獣医師の現状

(1) 年齢分布と地域特性

(2) 職域別の年齢構成

(3) 将来の展望

## 2 (1) -01 地域分布

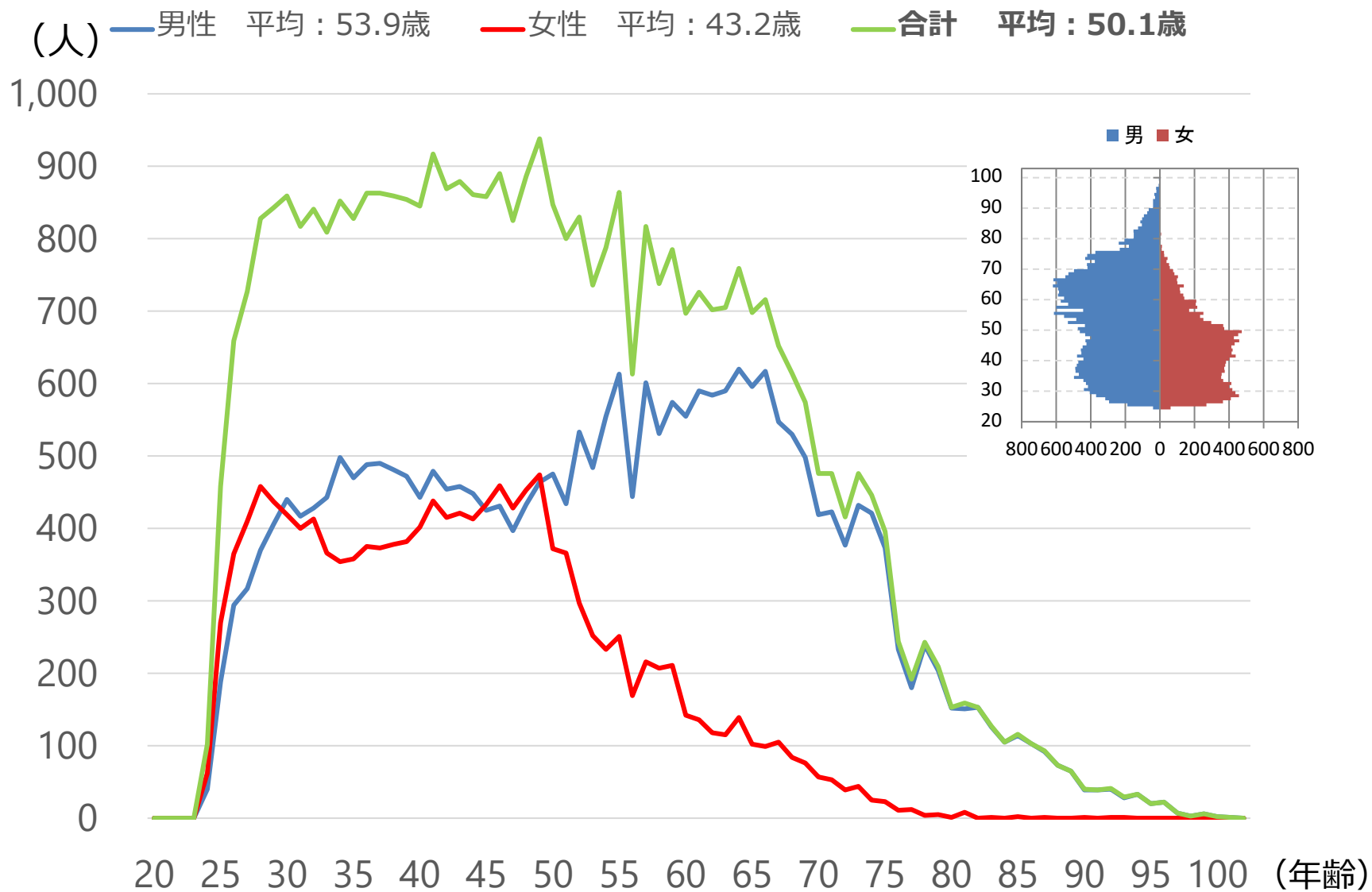
地 域	H24		R4		全国比
	届出者総数	全国比	届出者総数	全国比	R4-H24
北海道	3,305	8.6%	3,453	8.5%	-0.1%
東北地方	3,013	7.9%	3,015	7.5%	-0.4%
関東地方	12,649	33.0%	14,361	35.5%	+2.5%
中部地方	5,529	14.4%	5,684	14.1%	-0.3%
近畿地方	4,968	13.0%	5,140	12.7%	-0.3%
中国地方	2,426	6.3%	2,334	5.8%	-0.5%
四国地方	1,326	3.5%	1,405	3.5%	0.0%
九州地方	5,077	13.3%	5,063	12.5%	-0.8%
合 計	38,293	100%	40,455	100%	

【（人）：農林水産省調べ】

獣医師の地域偏在



## 2 (1) -02 年齢分布 (全国)



(令和4年12月31日現在)

## 2 (1) -03 獣医師の平均年齢

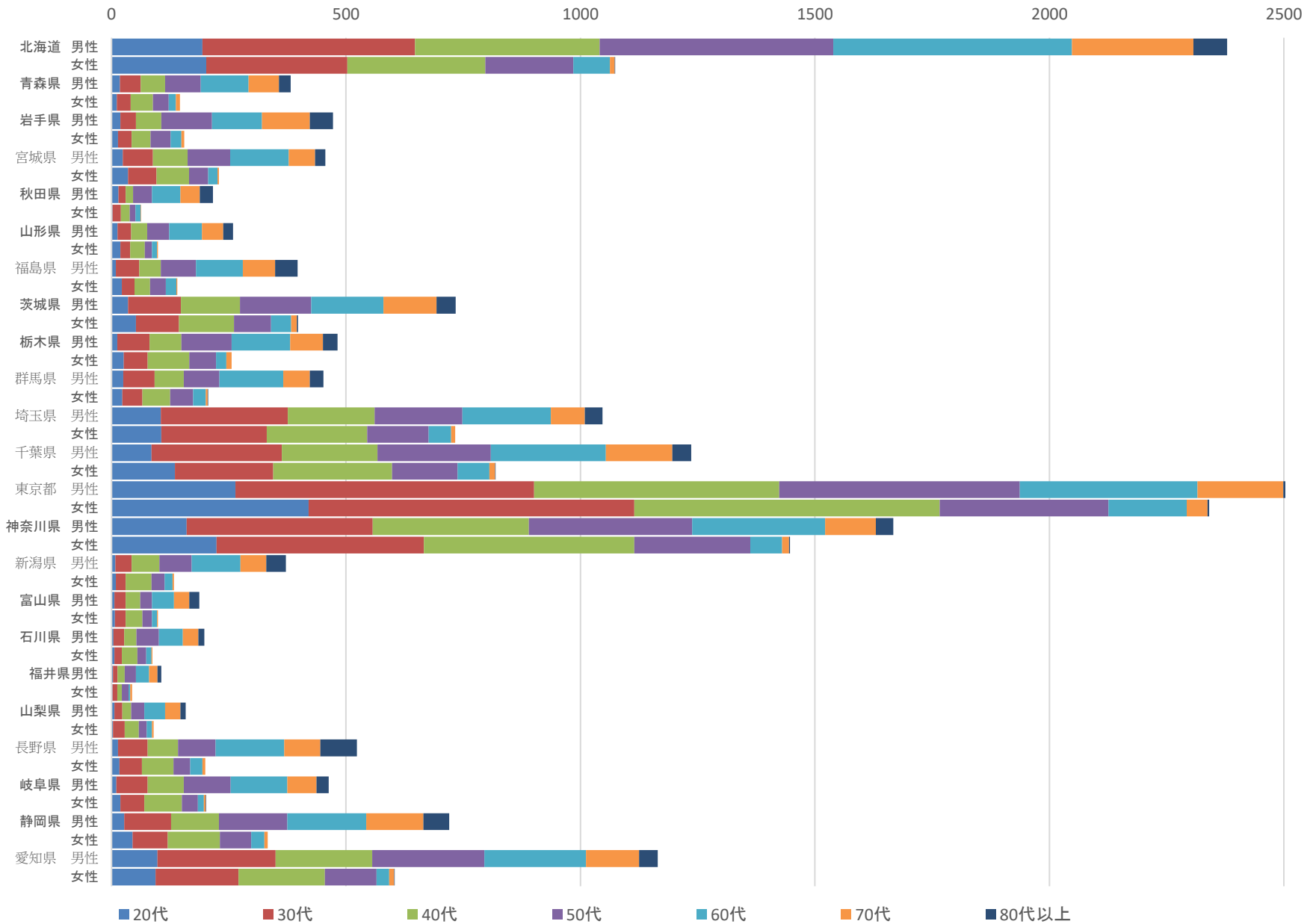
地 域	全国全体 平均との差	平均年齢		
		全体	男性	女性
北海道	-1.3	48.8	52.1	41.7
東北地方	+5	55.1	58.7	45.8
関東地方	-3.1	47	50.4	42.4
中部地方	+2.4	52.5	56.2	44.3
近畿地方	-1.7	48.4	51.5	42.5
中国地方	+3.8	53.9	57.5	45
四国地方	+4.8	54.9	58.8	44.7
九州地方	+3	53.1	56.5	44.3
全 国		50.1	53.9	43.2



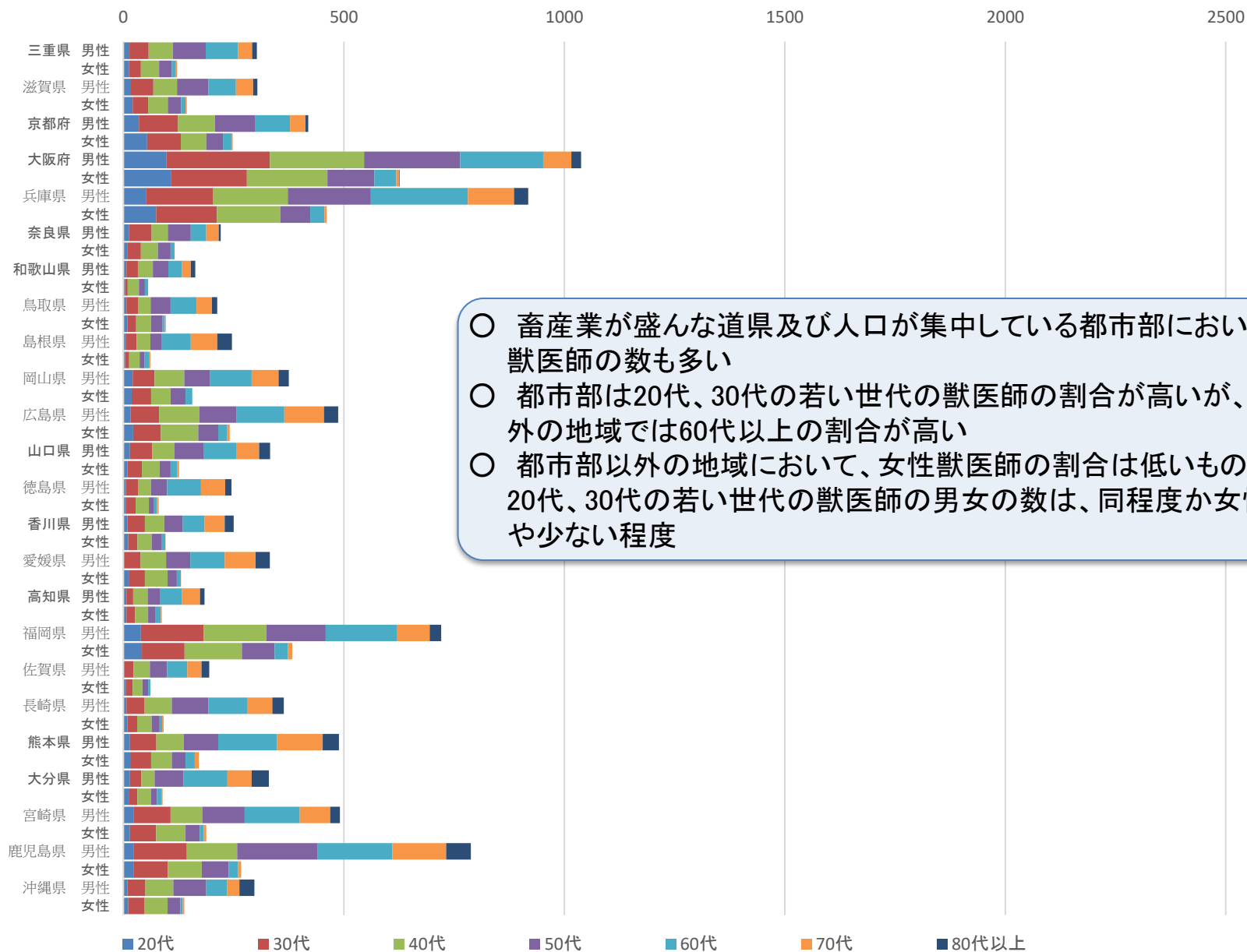
【（歳）：農林水産省調べ】

人口が多い、動物が多いところに集まる？

## 2 (1) -04 獣医師法22条の届出 都道府県別解析



## 2 (1) - 05 獣医師法22条の届出 都道府県別解析



- 畜産業が盛んな道県及び人口が集中している都市部においては、獣医師の数も多い
- 都市部は20代、30代の若い世代の獣医師の割合が高いが、それ以外の地域では60代以上の割合が高い
- 都市部以外の地域において、女性獣医師の割合は低いものの、20代、30代の若い世代の獣医師の男女の数は、同程度か女性がやや少ない程度

### 近年の獣医系大学の在籍者における女性比率

(単位 %)

年度	女性比率 ( ) 内は17大学の幅
令和6年度	59.0 (33.3 ~ 68.0)
令和5年度	57.9 (39.3 ~ 64.9)
令和4年度	53.1 (39.3 ~ 61.8)

(農水省調べ)

2,960人

36.0%

合計

9,478人

28.1%

合計

0%

20代

30代

40代

50代

60代

70代~

■ 男性 ■ 女性

○ 全体

約2,0

H24

↓

R4

○ 女性

20~4

(10年

○ 10年

女性獣

H24

↓

R4

## ポイント

- ① 地域によって、獣医師の偏在・高齢化が進展  
→新規獣医師の確保に苦慮しているか
- ② 地域を問わず、20～30歳代の  
獣医師のうち、女性獣医師は約半数

# 今日のお話

## 1 獣医師をめぐる情勢

## 2 獣医師の現状

(1) 年齢分布と地域特性

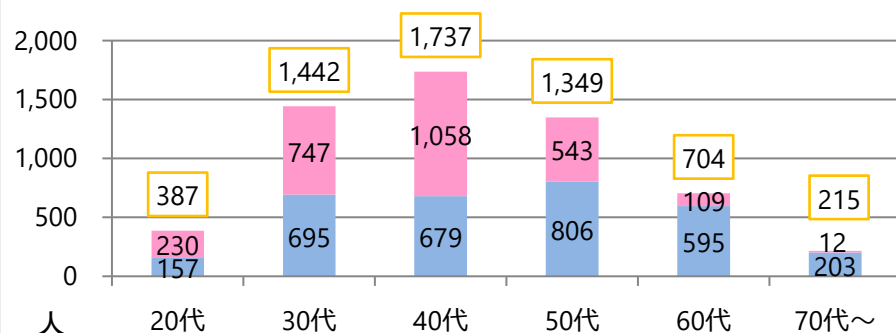
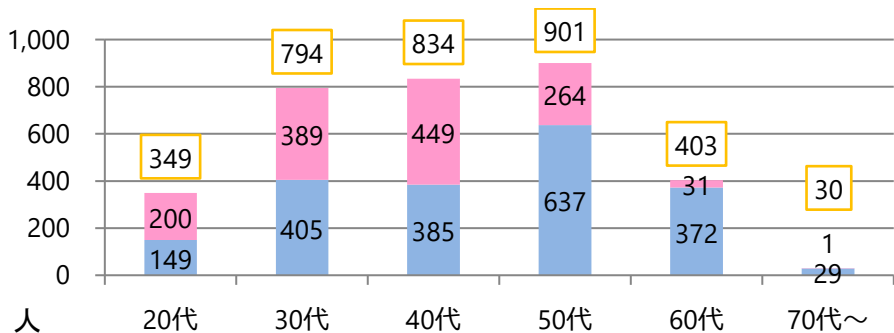
(2) 職域別の年齢構成

(3) 将来の展望

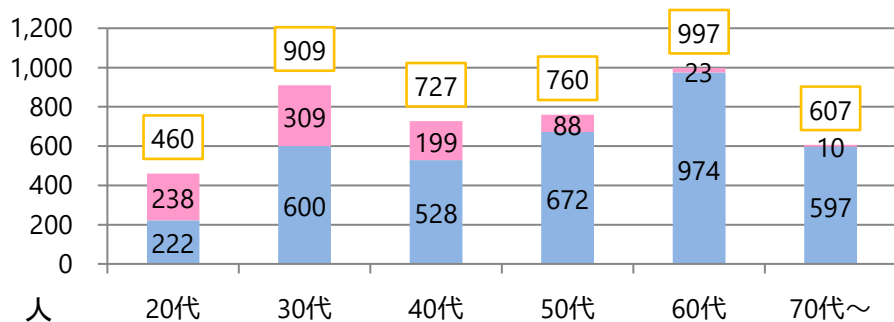
## 2 (2) -01 獣医師の就業先別世代分布 (全国)

公務員(農林水産分野) 女性 男性 合計

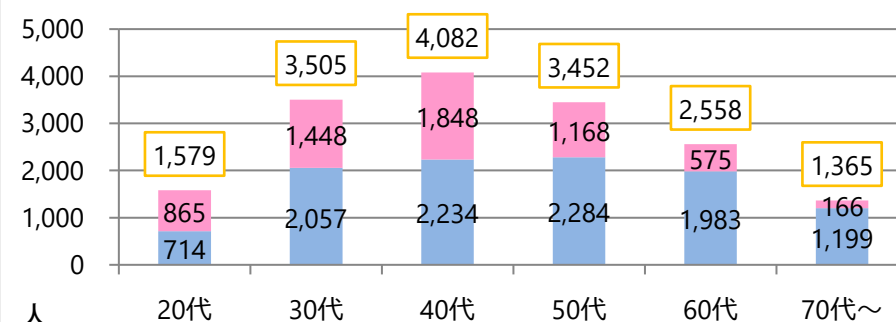
公務員(公衆衛生分野等)



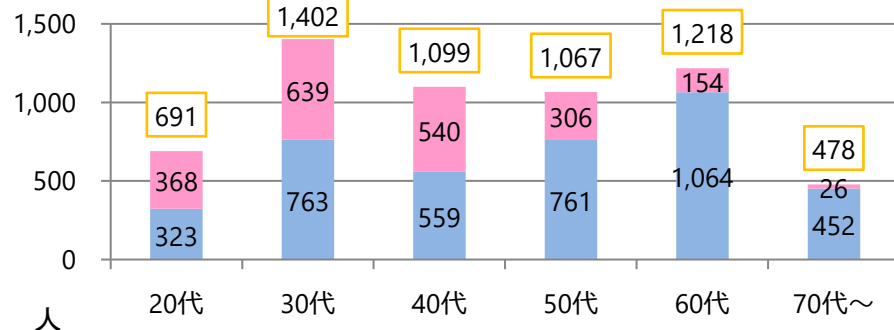
### 産業動物診療



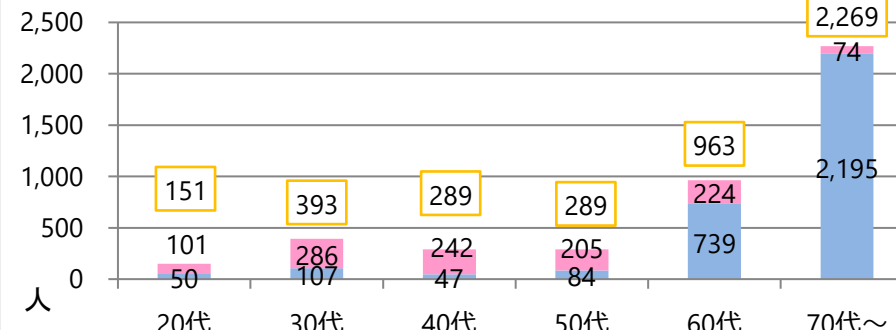
### 小動物診療



### 教員・民間会社等



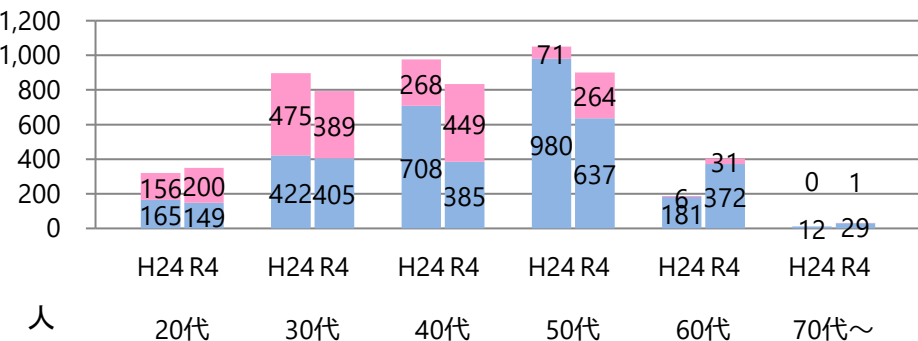
### 無職等



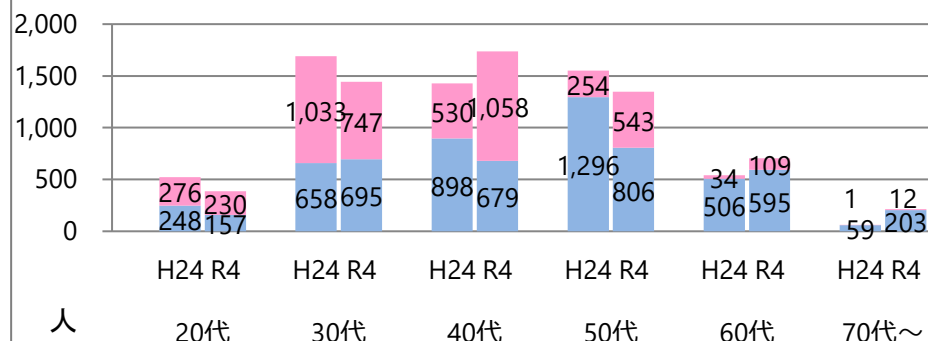


## 2 (2) - 02 獣医師の就業先別世代分布 (全国)

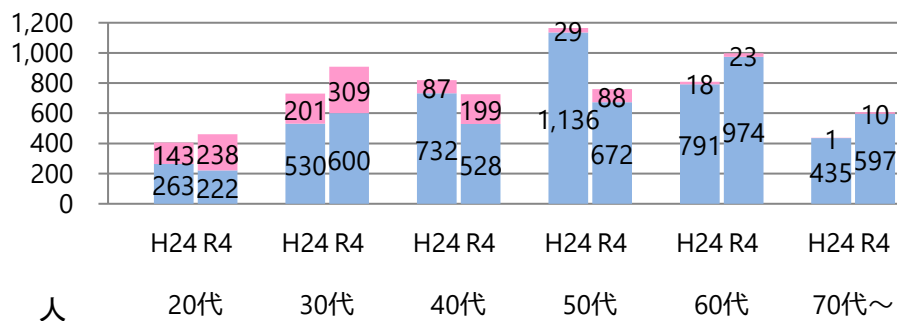
公務員(農林水産分野) 女性 男性



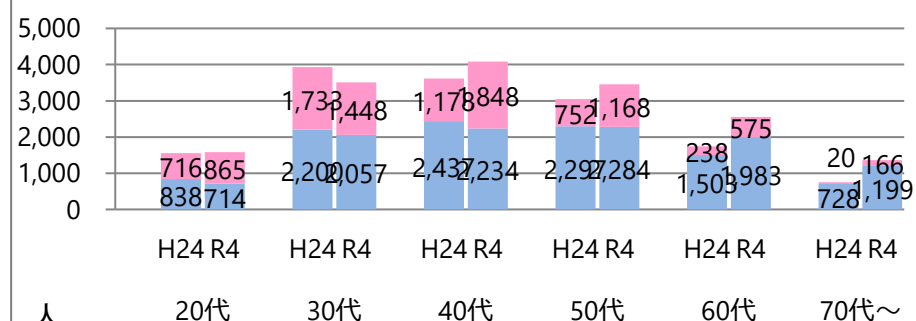
公務員(公衆衛生分野等)



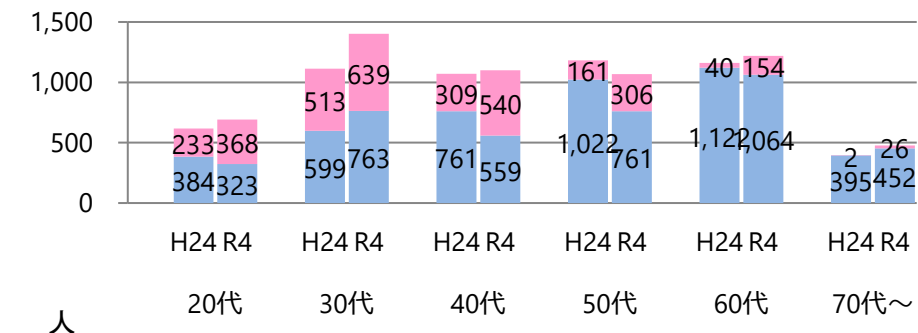
### 産業動物診療



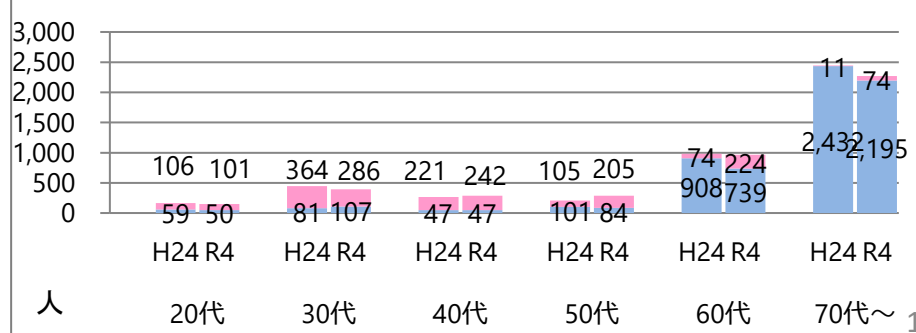
### 小動物診療



### 教員・民間会社等



### 無職等



## 2 (2) - 03 活動分野別男女比 (地方公務員)

- 全体では、10年間、  
約**150人** (約**0.98倍**) **減少**。

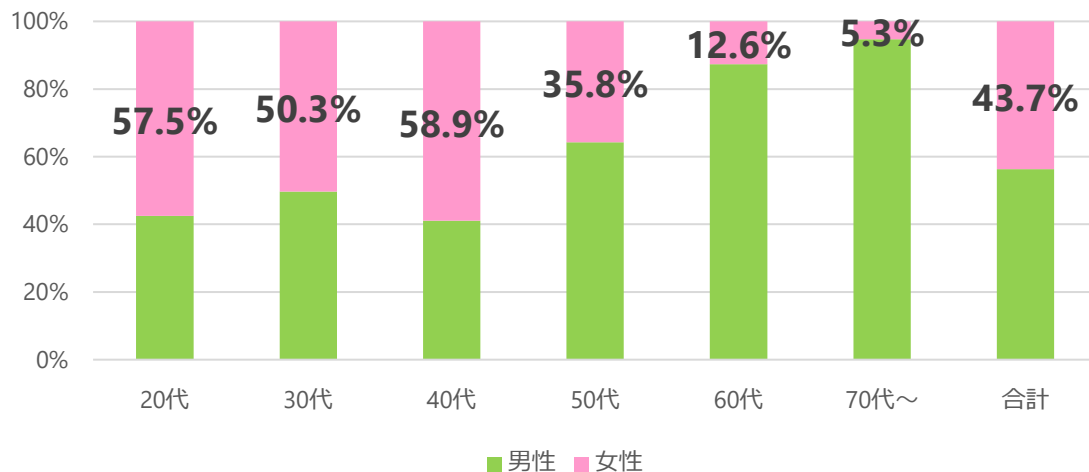
H24 : 8,804人  
↓  
R4 : 8,660人

- 地方公務員獣医師の**4割**は  
女性獣医師で、**20~40歳代**  
では半数以上

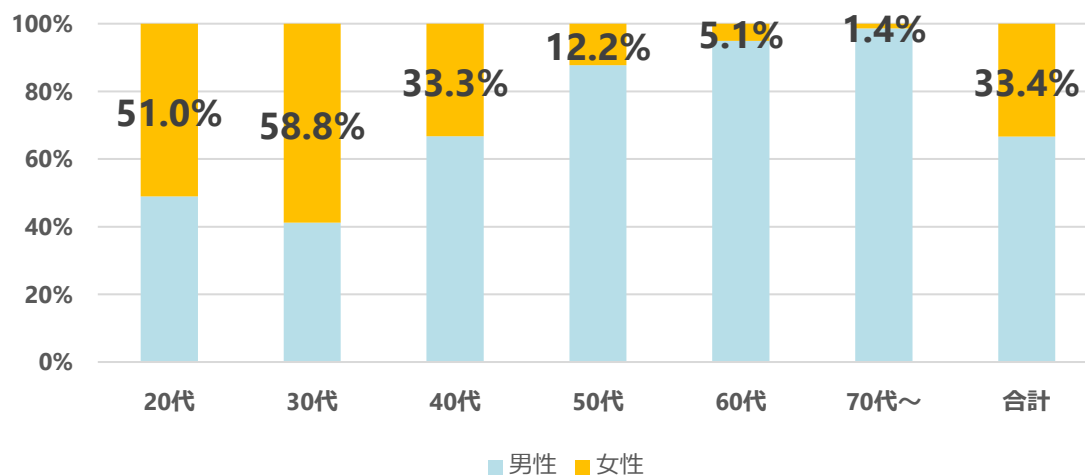
- 10年前と比較した場合、  
女性獣医師は約**1.3倍**

H24 : 33.4%(2,937人)  
↓  
R4 : 43.7%(3,781人)

地方公務員 (全体) の女性獣医師(R4) **3,781人**



地方公務員 (全体) の女性獣医師(H24) **2,937人**



## 2 (2) - 04 活動分野別男女比 (産業動物臨床獣医師)

- 全体では、10年間で約**100人** (約**1.02倍**) **増加**。

H24 : 4,366人



R4 : 4,460人

- 約**2割**は女性獣医師で、**20歳代**は**5割**、**30~40歳代**では約**3割**

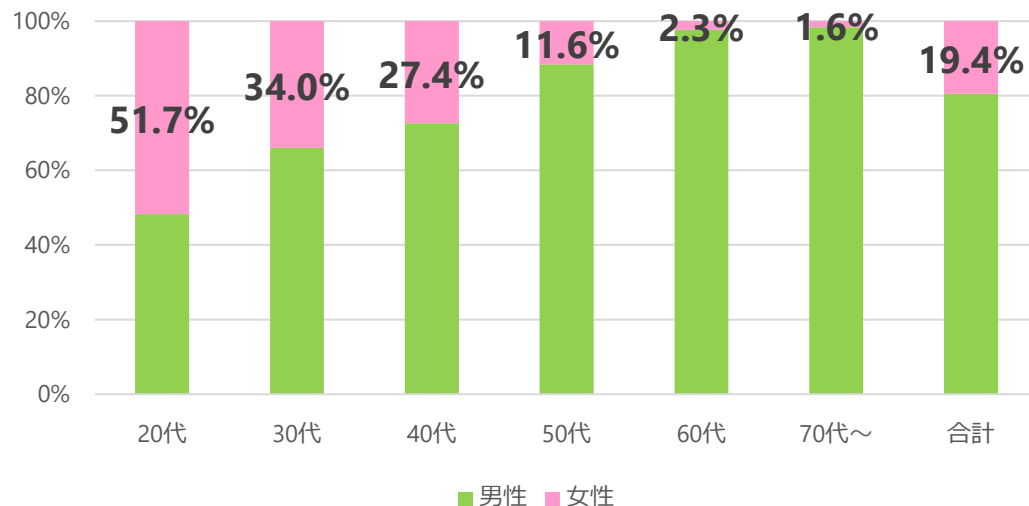
- 10年前と比較した場合、女性獣医師は約**1.8倍**

H24 : 11.0%(479人)

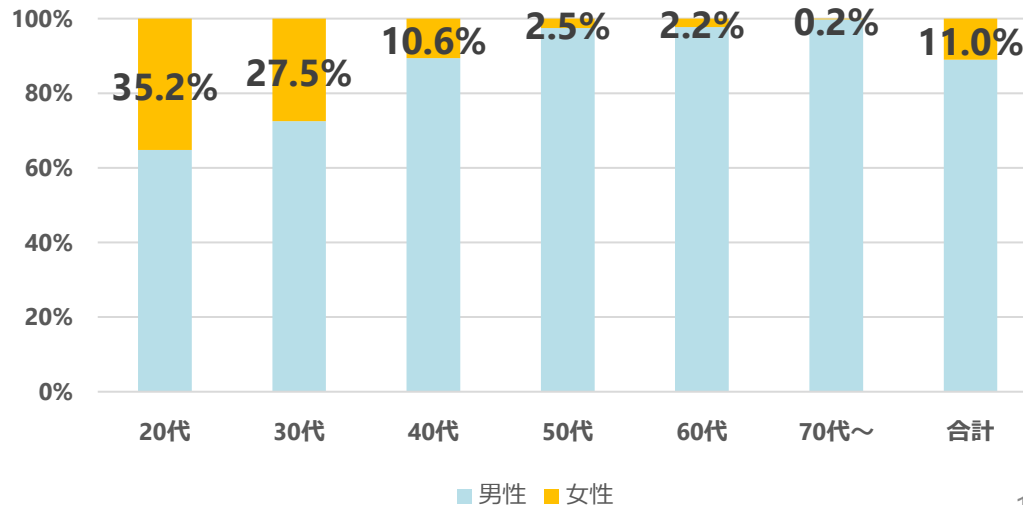


R4 : 19.4%(867人)

産業動物臨床獣医師(R4) 867人



産業動物臨床獣医師の女性獣医師 (H24) 479人



## 2 (2) - 05 活動分野別男女比 (小動物臨床獣医師)

- 全体では、10年間で  
約**1,900人** (約**1.1倍**) 増加

H24 : 14,640人



R4 : 16,541人

- 約**4割**は女性獣医師で、  
20歳代では約**5.5割**、30~40  
歳代では約**4~4.5割**。

- 10年前と比較した場合、  
女性獣医師は約**1.3倍**

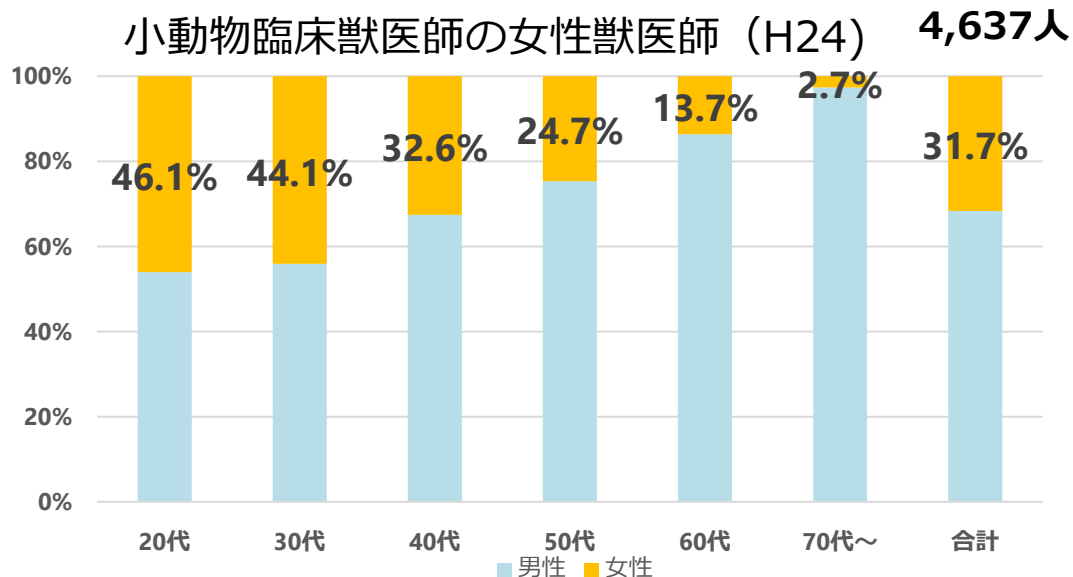
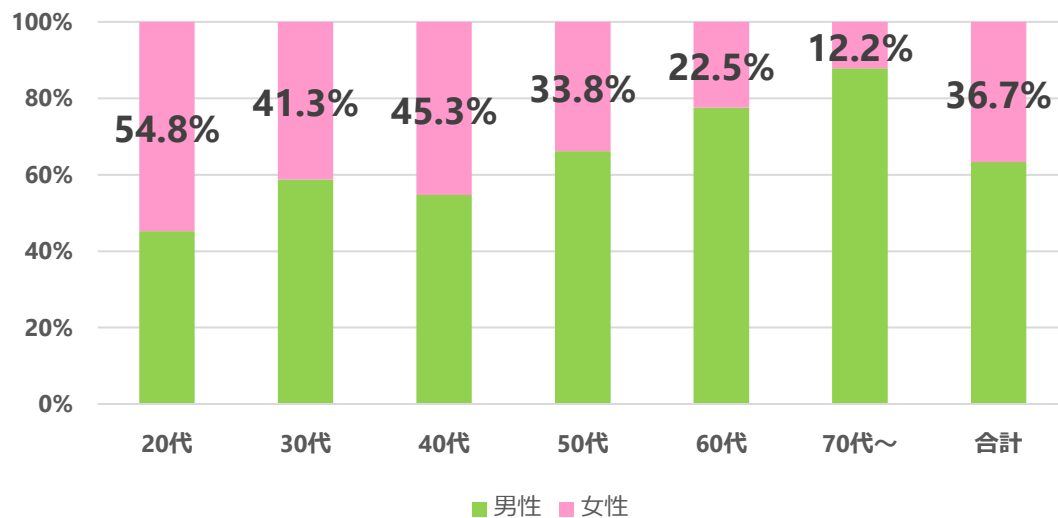
H24 : 31.7%(4,637人)



R4 : 36.7%(6,070人)

小動物臨床獣医師(R4)

6,070人



- 全体では、10年間で  
約**2,000**人 (約**1.06**倍) 増加

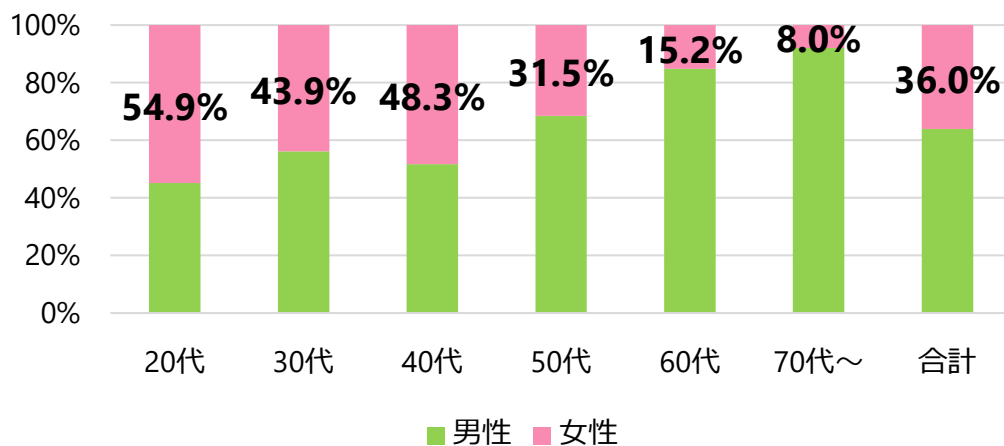
H24 : 約34,000人  
↓  
R4 : 約36,000人

- 女性獣医師は約**4**割で、  
**20~40**歳代では約半数  
(10年前 : 約**3**割)

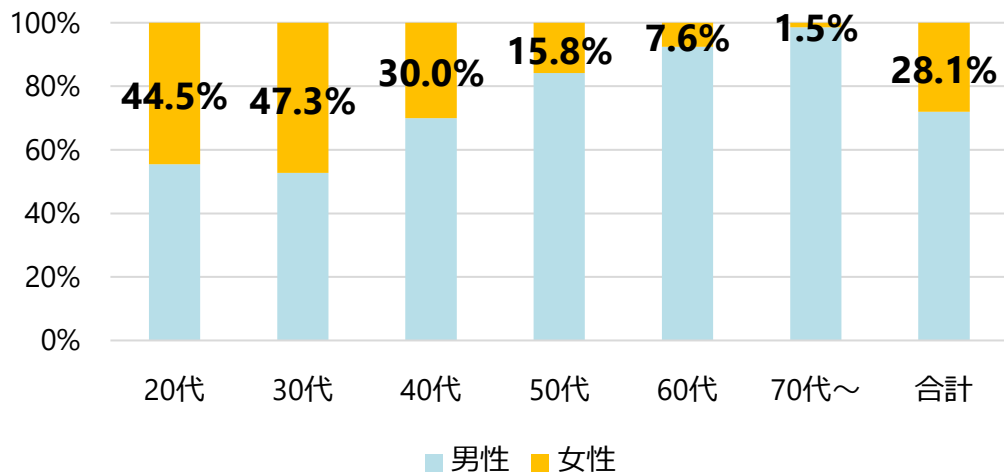
- 10年前と比較した場合、  
女性獣医師は約**1.4**倍

H24 : 28.1%(9,478人)  
↓  
R4 : 36.0%(12,960人)

獣医事に従事する者 (R4) 12,960人



獣医事に従事する者 (H24) 9,478人



## 2 (2) -07 無職の女性獣医師

無職の女性獣医師の年齢分布 (R4) (単位:人)

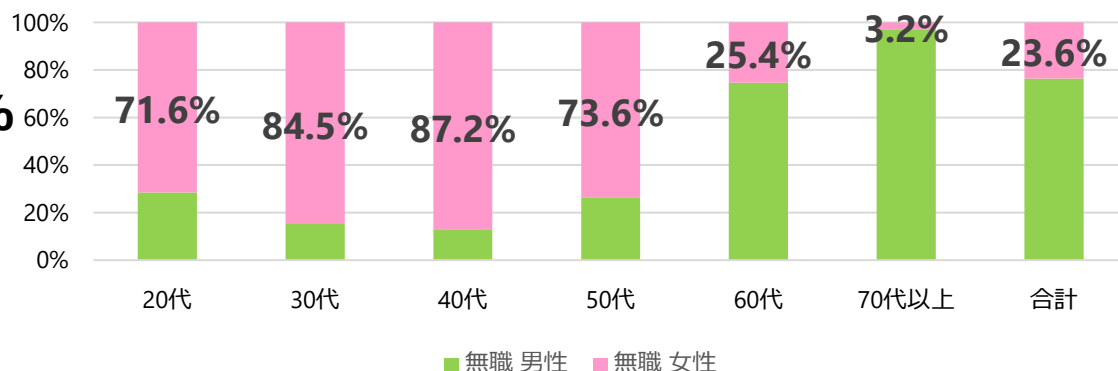
	届出者総数		獣医事に従事する者		無職		
		うち女性		うち女性	うち女性	うち男性	
20代	3,617	2,002	3,466	1,901	95	68	27
30代	8,445	3,818	8,052	3,532	252	213	39
40代	8,768	4,336	8,479	4,094	196	171	25
50代	7,818	2,574	7,529	2,369	182	134	48
60代	6,843	1,116	5,880	892	756	192	564
70代以上	4,964	289	2,695	215	2,093	66	2,027
20~50代	28,648	12,730	27,526	11,896	725	586	139
合計	40,455	14,135	36,101	13,003	3,574	844	2,730

- 獣医師約 4 万人のうち、
  - ・ 60歳未満の女性獣医師は約 1万2千7百人
  - ・ 約 6百人(4.6%)が無職  
(無職男性獣医師：約 1百人 (1%))

- 無職の者のうち、
  - ・ 女性は全体の約 2割
  - ・ 無職の女性の約 7割は 60歳未満

- 一方、
  - ・ 無職の女性医師：約 1%
  - ・ 無職の女性歯科医師：約 2%

無職の男女比(R4) 844人



## ポイント①

- ① 獣医事に従事する**女性獣医師**は、**10年間で1.5倍**になり、20～30歳代では約半数が女性
- ② 地方公務員の**女性獣医師**も、10年間で約1.5倍になり、約35%が女性
- ③ 産業動物獣医師は減少しているが、**女性獣医師は10年間で2倍**になり、20～30歳代では約35%が女性



女性獣医師が増加する中、産業動物診療分野の増加が顕著な一方、小動物診療分野の増加は低い

## ポイント②

- ① 小動物診療の女性獣医師は、10年間で1.3倍になり、20～30歳代では約45%が女性
- ② 60歳未満の女性獣医師のうち、4.6%（586人）が無職
- ③ 2年前無職だった女性獣医師のうち、約半数は無職
- ④ 現在、獣医大学の在学者のうち、約半数が女子学生



今後とも女性獣医師の増加が見込まれる一方、医師等と比較しても、無職の女性獣医師の割合が高い

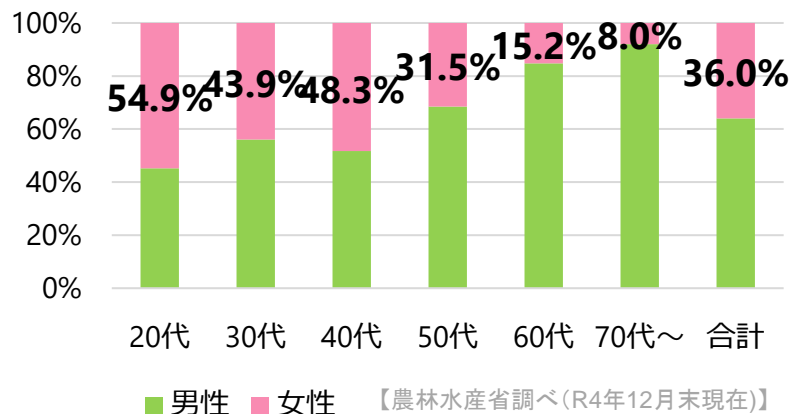


# 女性獣医師が生涯を通じて、能力を十分発揮できる環境作りが重要

- 獣医師のうち、20～30歳代では**女性獣医師が増加しており、約半数近く**を占めている
- **獣医学生の約半数は女性**であり、今後も女性獣医師が増加

## 課題

- 結婚や出産、子育てを理由に離職
- 長期離職による技術力への不安等により、再就職をためらう者の存在



## 女性獣医師等の産業動物分野への就業支援

- 1 女性獣医師等のスキルアップ  
職場復帰・再就職に当たって、最新の知識の習得や技術の向上を図るための研修を実施
- 2 雇用者の理解醸成  
女性獣医師等の就業に対する理解を醸成するための講習を実施
- 3 学生への情報提供  
将来の就業先について考える機会を提供するセミナーや獣医師が働く診療現場等の見学を実施

# 今日のお話

## 1 獣医師をめぐる情勢

## 2 獣医師の現状

(1) 年齢分布と地域特性

(2) 職域別の年齢構成

(3) 将来の展望

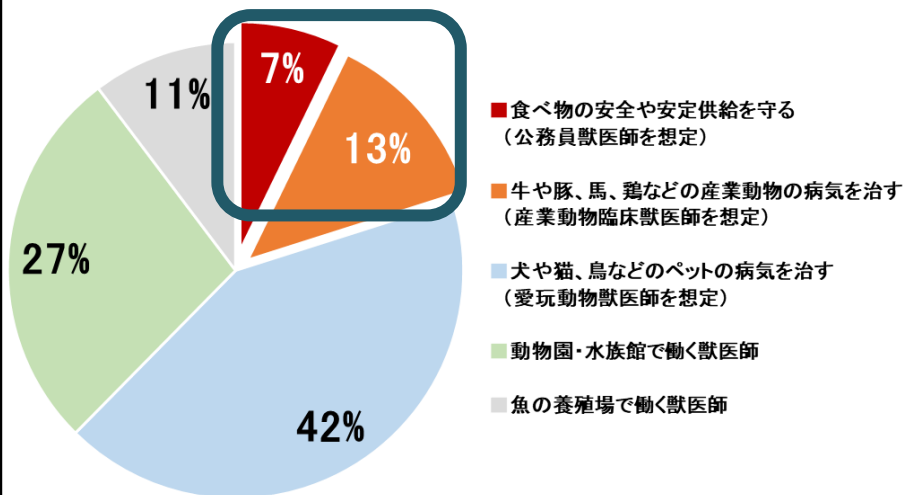
## 2 (3) -01 どんな獣医さんになってみたいか？（幼稚園児～中学生）

- こども霞が関見学デー（8/7,8）で「なりきり獣医さん」をテーマに、産業動物獣医師の業務体験及びパネル展示を実施。
- 2日間で300人以上来場（幼稚園児～中学生）、アンケートも実施（下記参照）。



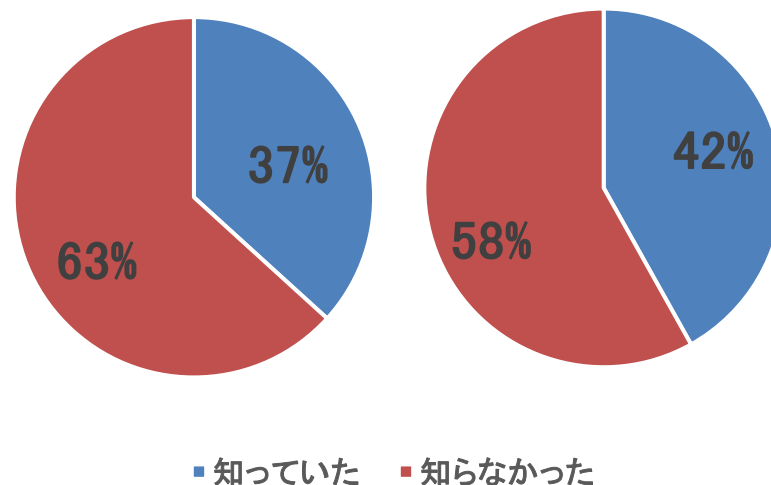
### ① 「どんな獣医さんになってみたいか？」

こども（n=194）対象



### ② 「産業動物獣医師を知っていたか？」

こども（n=166）・保護者（n=148）対象  
（こども）割合 （大人）割合



世代間で認知度の差が少ない

⇒若年層・保護者世代への魅力発信が重要

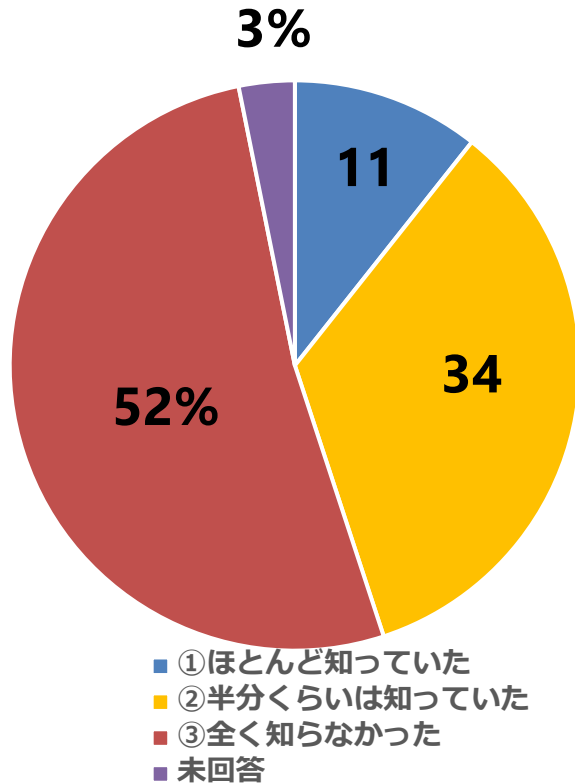
## 2 (3) -02 産業動物獣医師を知っていますか？（中高生）

- 農林水産省「消費者の部屋」（11/18,~11/22）で「産業動物獣医師、AMR等」をテーマに、業務紹介などを実施。
- 5日間で560人来場、アンケートも実施（下記参照）。



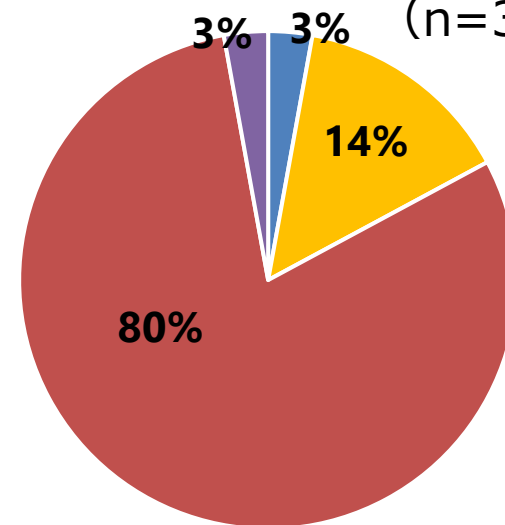
### 「産業動物獣医師の展示内容を知っていたか？」

(n=347)



### 「19歳以下」でみると

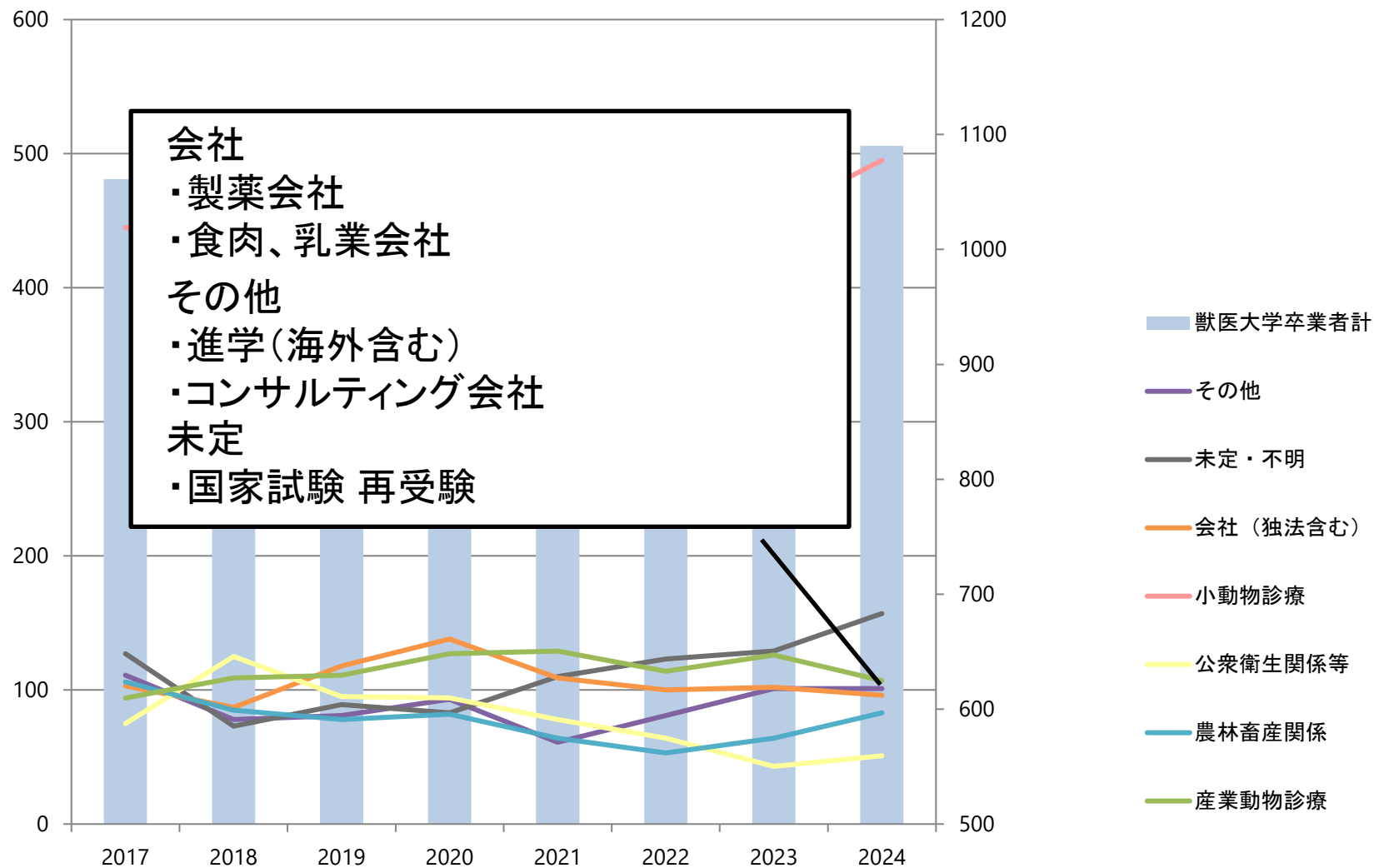
(n=35)



※ 学校訪問3校：  
中学2年生16名、中学1年生10名、高校1年生8名

⇒若年層への魅力発信が重要

## 2 (3) -03 どんな獣医師になっているか？（獣医学生）



## 2 (3) -04 どんなことを考えているか (獣医学生)

- 農林水産省では、毎年、獣医系大学からの講師依頼に応じて業務紹介等を実施。
- 国家公務員は日本全国に赴任する必要があるので、地方での生活を苦しめない人や家族と離れての生活に耐えられる人でないと厳しそう。
- 今の学生は仕事内容だけでなく、ワークライフバランスや福利厚生などを重視している人が多い。
- 国家公務員では子育て制度や給与が安定していることに興味がでた。
- 自分のやりがいをとるか給料をとるかバランスをしっかりと考えようと思った。
- 国家公務員でも格別高い給料でもなく、副業もできない。



- ・ ワークライフバランスを重視している学生が多い
- ・ やりがい、給与、福利厚生も大事

## 2 (3) -05 どんなことを考えているか (獣医学生)

- 農林水産省では、毎年、獣医系大学からの講師依頼に応じて業務紹介等を実施。
- 自分の手で直接動物を診療したい。
- 小動物臨床は、愛犬や動物病院、中学校での職場体験などで大学入学前からイメージを持ちやすい環境。
- 動物のために働きたい人が多い獣医学部で人の食の安全を守りたいと思って仕事ができる人はなかなかいないのに加え、世間でもあまり認知されていないと感じる。
- 実際の仕事は自分のイメージと異なり研修で見せてもらうことの大切さを感じた。
- 今の大学のカリキュラムが小動物の方に魅力をより感じるつくり。産業動物は情報に触れ合う機会が少ない。
- 公務員獣医師はワークライフバランスを取りやすいのに人気がないのは、その仕事の認知度の低さからだと思う。



- ・ 獣医師といえば「動物を直接診療」
- ・ 仕事によって、認知度に違い

## ポイント

- ① 子供から大人まで、獣医師の仕事内容について、「動物のお医者さん」のイメージが強い。
- ② 特に、産業動物分野に関する「知っている人」が少ない。
- ③ 獣医学生の職業選択については、「ワークライフバランス、給与、仕事のやりがい」は重要



- ・ 獣医師の職域の広さを知ってもらうことが必要
- ・ 処遇を含む職場環境改善はマスト



## 参考) 農林水産省の職場環境

研修制度 / 両立支援制度 / 働き方改革 / 子育て中の職員の声

# 農水省各機関での獣医系技術職員のための主な活躍の場

## MAFF

本省

動物検疫所

動物医薬品検査所

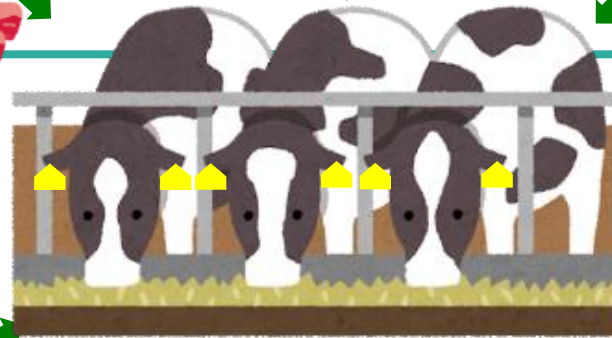


輸出入動物・畜産物を通じた伝染性疾病の侵入・拡散防止

- ・生産振興・経営安定対策
- ・畜産物の安全確保
- ・家畜衛生の向上
- ・畜産物の流通合理化、消費拡大



動物用医薬品等の検定・検査



家畜改良のための種苗の生産・供給

ワクチン・診断キット等の開発製造



飼料作物の種苗の生産・供給

疾病・病原体の試験研究、病性鑑定



(独立行政法人)  
家畜改良センター

(国立研究開発法人)  
農研機構動物衛生研究部門

# 研修制度

スキルアップするための、様々な研修を用意しています。

## 職階別研修

### 新規採用者向けの研修

- 新任者研修
- 総合職の方は、人事院主催の初任者向け研修にも参加（他省庁合同）

### 昇任前後で受ける研修

- 係長養成研修
- フォローアップ研修
- 課長補佐養成研修など

## 能力開発研修

### 各機関実施の研修

- 本省：農村研修
- 動物検疫所：新規採用者研修  
家畜防疫官研修など

### 語学研修

- 外国語能力等向上研修
- オンライン英会話研修など

### 派遣制度

- 長期在外研究員制度\*
- 国内大学院派遣制度など



### \* 長期在外研究員制度とは？

人事院主催の海外留学制度。  
海外の大学院の修士課程等へ2年間派遣されます。  
語学力が一定以上あり、留学意欲、将来の国際関係業務への  
従事意欲が高い方が選考されます。



長期在外研究員制度について知りたい方は  
こちらから(人事院HPへのリンク)

# 両立支援制度

妊娠、出産、育児のために利用できる両立支援制度が充実。男性の育休取得率も向上しています。



## 妊娠

### 体調に配慮しながら働きたい

- 深夜・時間外勤務の制限
- 通勤緩和のための職務専念義務の免除
- 健康診査・保健指導を受けるための職務専念義務の免除



## 出産

### 仕事を休んで専念したい

- 産前・産後休暇
- 配偶者出産休暇
- 育児参加のための休暇



## 育児

### 仕事を休んで専念したい

- 育児休業
- 子の看護休暇

### 勤務時間を短くしたい

- 育児短時間勤務
- 育児時間
- 保育時間

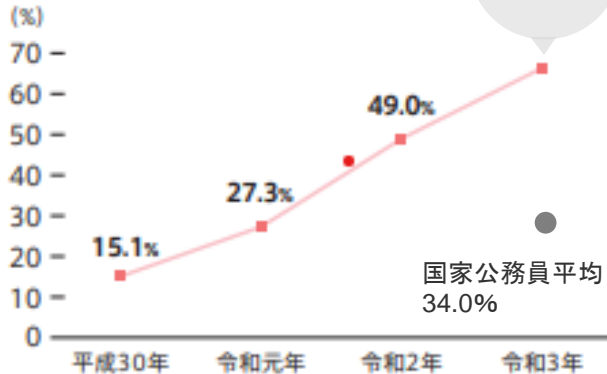
### 勤務時間帯を変更したい

- フレックスタイム制
- 早出遅出勤務
- 休憩時間の短縮、延長

農林水産省の  
男性の育休取得率は

# 66.4%

女性は  
100%



※1 育児のために取得する一定期間の休業(休暇は除く)  
※内閣人事局「国家公務員の育児休業等の取得状況のフォローアップ」を元に作成



詳しい制度については、  
人事院発行の両立支援ハンドブックを  
ご覧ください。



本省併設の保育所

## 「働き方改革」推進中！

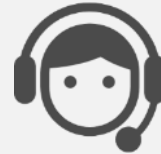
多様な働き方ができるように改革を進めています。

働き方改革キャラクター



### 持ち出し可能な軽量PC

職員全員に配布されました。  
異動時と同じ端末を利用可能に。



### テレワークの導入

通勤時間がなくなることで、ワークライフ  
バランスが向上しました。



### BYODで私用スマホ使用可

一部のアプリが利用可能に。  
出張時、災害時の報告にも活用できます。



### フレックスタイム制の導入

原則全ての職員が利用可能に。  
多様な働き方を手に入れましょう。



### Teamsの導入

WEB会議・チャット・ファイルの共同編集  
などが手軽にできるようになりました。



### 年次休暇の取得推進

月1回の取得を推奨。休暇をとっても支障  
がないように業務の効率化も進めています。